

R4年度 事務事業評価シート

124

課・局・室・所(係)

建築住宅課

建築係

事務事業番号

216010103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保	1	住宅整備の支援		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	建築行政推進事業	3	石綿に関する講習受講事業				行政内部管理
	石綿障害予防規則等の改正により、解体工事(床面積の合計80㎡以上)、建築物・特定工作物の改修工事(請負金額100万円以上)等の工事は、令和4年4月から事前調査結果等を労働基準監督署に届出が必要になり、令和5年10月から事前調査ができるものを厚生労働大臣が「一般建築物石綿含有建材調査者」等として定めた。「石綿作業主任者技能講習」については、事前調査だけでなく比較的飛散が少ないレベル3の石綿作業計画等についても改正されており、発注者としての知識取得が必須となっている。また、「一般建築物石綿含有建材調査者」の受講資格のひとつでもある。				対象	監督職員に任じる職員		
					手段	講習・試験の受講		
					意図	石綿建材撤去作業の知識習得と石綿事前調査資格の取得		

事業期間	R4 年度	～	R6 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					(一般)		(一般)	
					普通旅費	100千円	普通旅費	
					消耗品費	14千円	消耗品費	16千円
					研修負担金	115千円	研修負担金	132千円
					(石綿)		(石綿)	
					消耗品費	4千円	消耗品費	3千円
					研修負担金	24千円	研修負担金	14千円
合計						257千円		165千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						257千円	165千円
合計						257千円	165千円	
人工数	人件費				0.05人	287千円		
総経費		千円		千円		544千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	一般建築物石綿含有建材調査者人数	活動			3人 3人 100.00%	3人
2	石綿作業主任者技能講習人数	活動			2人 2人 100.00%	1人
3						

成果	石綿建材撤去作業の知識習得及び石綿事前調査資格を取得した。					
R6年度に向けた課題及び改善策	特になし。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

125 課・局・室・所(係) 建築住宅課 建築係 事務事業番号 216010201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保		1	住宅整備の支援		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	住宅リフォーム助成事業	1	住宅リフォーム資金助成制度					政策的
	リフォームを行う民間住宅の所有者に対し、山陽小野田市住宅リフォーム資金助成金交付要綱に基づき助成金を支給する。助成金の額は工事費の10%、限度額7万円で、市内業者の施工によるものに限る。					対象	自らが居住する家屋のリフォーム工事を行う家屋の所有者		
						手段	市広報紙等で広く募集し、工事完了後、助成金を支給する。		
					意図	地域経済の活性化と住環境の向上			

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳	住宅リフォーム助成金	9,810千円		住宅リフォーム助成金	9,880千円		住宅リフォーム助成金	9,830千円	住宅リフォーム助成金	10,000千円
	合計		9,810千円			9,880千円			9,830千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源		9,810千円			9,880千円			9,830千円	
合計		9,810千円			9,880千円			9,830千円		10,000千円
人工数	人	1.07人		人	0.54人		人	0.45人		
人件費		3,859千円			2,100千円			1,597千円		
総経費		13,669千円			11,980千円			11,427千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	助成金額	活動	10,000,000円	10,000,000円	10,000,000円	10,000,000円
			9,810,000円	9,880,000円	9,830,000円	
			98.10%	98.80%	98.30%	
2	助成件数	活動	—	—	—	—
			191件	175件	170件	
			—	—	—	
3						

成果	住宅改修の支援につながっている。				
R6年度に向けた課題及び改善策	特になし。				
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

126 課・局・室・所(係) 建築住宅課 建築係 事務事業番号 216010301

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保		1	住宅整備の支援		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
3	住宅・建築物耐震化促進事業	1	住宅・建築物耐震化促進事業						政策的
事業概要	住宅の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強いまちづくりを推進する。昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅の耐震診断及び耐震改修を実施する者に対して補助金を交付する。					対象	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅		
						手段	耐震診断員の無料派遣及び耐震改修を実施する者に対する補助金の交付		
						意図	民間建築物の耐震性の確保		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)			R4(決算額)		R5(予算額)		
	耐震診断員派遣業務委託料	1,258千円	耐震診断員派遣業務委託料	444千円	耐震診断員派遣業務委託料	518千円	耐震診断員派遣業務委託料	1,480千円		
	耐震診断・改修事業補助金	997千円	耐震診断・改修事業補助金		耐震診断・改修事業補助金	1,000千円	耐震診断・改修事業補助金	1,000千円		
	合計		2,255千円		444千円		1,518千円		2,480千円	
財源内訳/割合	国庫支出金	1/2	1,127千円	1/2	222千円	1/2	759千円	1/2	1,240千円	
	県支出金	1/4	563千円	1/4	111千円	1/4	379千円	1/4	620千円	
	地方債									
	その他									
	一般財源	1/4	565千円	1/4	111千円	1/4	380千円	1/4	620千円	
合計		2,255千円		444千円		1,518千円		2,480千円		
人工数	人件費	0.43人	1,979千円	0.13人	752千円	0.12人	688千円			
総経費		4,234千円		1,196千円		2,206千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	民間木造住宅耐震診断件数	活動	20件	20件	20件	20件
			17件	6件	7件	
			85.00%	30.00%	35.00%	
2	民間木造住宅改修件数	活動	1件	1件	1件	1件
			1件	0件	1件	
			100.00%	0.00%	100.00%	
3						

成果	住宅改修の支援につながっている。				
R6年度に向けた課題及び改善策	特になし。				
目標達成度	C	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

127

課・局・室・所(係)

建築住宅課

住宅管理係

事務事業番号

216020113

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保		2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	市営住宅維持管理事業	13	市営住宅分電盤開閉器点検						政策的
事業概要	平成25年度に分電盤開閉器の故障により、電気製品の破損事故が発生し、発生した棟の全戸の点検を実施したところ事故発生以外でも故障が見つかった。経年劣化などによる緊急度の高い住宅から、業者に委託し順次点検を実施する。漏電に伴う火災発生及び家電製品の破損事故発生の未然防止を図る。					対象	漏電ブレーカーが設置されている分電盤		
						手段	電気事業者が行わない住宅内の機器取付状況の点検業務		
						意図	市営住宅の住環境の保全と入居者等の安全確保		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)		R5(予算額)		
支出内訳				手数料		80千円	手数料		80千円	手数料	72千円
	合計					80千円		80千円		72千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										
	一般財源					80千円		80千円		72千円	
合計					80千円		80千円		72千円		
人工数	人件費			0.05人		289千円	0.05人		287千円		
総経費			千円			369千円			367千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	点検戸数	活動	0戸	10戸	10戸	10戸
			0戸	12戸	12戸	
			0.00%	120.00%	120.00%	
2						
3						

成果	市営住宅の住環境の保全と入居者等の安全確保につながっている。				
R6年度に向けた課題及び改善策	特になし。				
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

128

課・局・室・所(係)

建築住宅課

住宅管理係

事務事業番号

216020118

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	3	都市基盤	16	住環境の確保	2	市営住宅の適正管理	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
1	市営住宅維持管理事業	18	市営住宅昇降機修繕工事				政策的
事業概要	市営住宅のすべての昇降機4基で修繕が必要である。古開作第二団地H-1棟とH-2棟は、枠やドア周りのサビで穴が開きつつある。神帆団地D棟と萩原団地1棟は、乗り場の敷居がサビで、停止・故障する場合もあり、早急に敷居の交換が必要である。総額で11,387千円必要なので、4年間で平準化して修繕する。				対象	市営住宅の昇降機4基	
					手段	取替時期を迎えた部品の取替えや修繕	
					意図	昇降機の安全性を確保する。	

事業期間	R4 年度	～	R7 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					修繕料	1,496千円	修繕料	3,094千円
	合計						1,496千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						1,496千円	
合計						1,496千円		3,094千円
人工数	人件費				0.05人	287千円		
総経費		千円		千円		1,783千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	各階の昇降機枠、床、ドア周りのサビ、膨らみの修理(古開作第二団地)	活動			—	—
2	乗場敷居取替え(神帆団地、萩原団地)、定電圧装置取替え(萩原団地)	活動			—	修繕
3	部品交換(制御盤内主回路制御ユニット他(神帆団地)、主ロープ交換(萩原団地))	活動			修繕 修繕完了 100.00%	—

成果	昇降機の安全性の確保につながっている。				
R6年度に向けた課題及び改善策	特になし。				
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

129

課・局・室・所(係)

建築住宅課

住宅管理係

事務事業番号

216020121

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保		2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	市営住宅維持管理事業	21	古開作第二団地防火戸改修工事						政策的
事業概要	建築基準法施行令第112条第9項により、古開作第二団地のH-1棟・H-2棟には防火戸が設置されている。同設備を点検したところ、H-2棟の1階、2階、5階の防火戸については、正常に閉まらないことが判明した。2階の防火戸は、手動で閉まらない状態であり、5階は感知器が作動しても自動で閉まらない状態である。ついては、火災時に延焼防止の機能を正常に果たせるよう、所要の改修を行う。					対象	古開作第二団地H-2棟に設置されている防火戸		
						手段	撤去及び取替え		
						意図	防火戸を改修し、火災時に堅穴空間を区画し、火災の延焼を防止する趣旨の建築基準法第112条第9項に適合させる。		

事業期間	R4 年度	～	R4 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					工事請負費	6,204千円		
	合計					6,204千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					6,204千円		
合計					6,204千円			
人工数	人件費				0.12人	688千円		
総経費		千円		千円		6,892千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	防火戸改修	成果			3か所 3か所 100.00%	
2						
3						

成果	防火戸を改修し、火災時に堅穴空間を区画し、火災の延焼を防止する趣旨の建築基準法第112条第9項に適合させることができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	特になし。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R4	
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

130

課・局・室・所(係)

建築住宅課

住宅管理係

事務事業番号

216020201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保	2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	市営住宅解体・建替え事業	1	市営住宅解体工事(単独)				政策的
	山陽小野田市市営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した市営住宅を計画的に解体していく。防犯上及び安全上危険な空き家をなくし市営住宅団地内外の居住環境を改善するとともに、将来的に負担を先送りすることなく、計画的に市営住宅ストックを管理していく。				対象	市営住宅の老朽空き家		
					手段	解体工事		
				意図	市営住宅の安全性確保、将来の負担の平準化			

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)			
					アスベスト調査委託料	574千円	アスベスト調査委託料	4,050千円		
					空き家家具撤去等業務委託料	1,386千円	空き家家具撤去等業務委託料	2,772千円		
					工事請負費	14,190千円	工事請負費	58,658千円		
合計							16,150千円		65,480千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債					100%	14,000千円	100%	58,500千円	
	その他									
	一般財源						2,150千円		6,980千円	
合計							16,150千円		65,480千円	
人工数	人件費						0.64人	3,669千円		
総経費			千円		千円			19,819千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	小野田地区(古開作第一・平原・南中川第二・叶松)解体実施	活動			平原2棟8戸 平原2棟8戸 100.00%	平原3棟12戸
2	山陽地区(大喜園・吉田地・萩原・漁民)解体実施	活動			萩原3棟3戸 萩原3棟3戸 100.00%	萩原3棟3戸、大喜園3棟3戸
3						

成果	市営住宅の安全性確保及び将来の負担の平準化につながっている。				
R6年度に向けた課題及び改善策	特になし。				
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

131

課・局・室・所(係)

建築住宅課

建築係

事務事業番号

216020301

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保		2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
3	市営住宅長寿命化事業	1	市営住宅屋上防水改修工事						政策的
事業概要	本事業は国の補助事業で、市営住宅の長寿命化工事を行うものである。古開作第二団地B棟はアスファルトシングルという屋根材であるが、昨年の台風でB棟の屋根材が多数はがれる被害が出て、一部の部屋では雨漏りをしているため、屋根のリニューアルの工事を行う。					対象	市営住宅の屋上		
						手段	工事による防水改修		
						意図	市営住宅の安全性、機能性の確保及び計画修繕による建物の長寿命化		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)			R4(決算額)		R5(予算額)		
	工事請負費	5,112千円	工事請負費	7,066千円		工事請負費	12,188千円			
	合計	5,112千円		7,066千円			12,188千円			
財源内訳 / 割合	国庫支出金	1/2	2,580千円	1/2	3,508千円		1/2	6,094千円		
	県支出金									
	地方債	100%	2,500千円	100%	3,500千円		100%	6,000千円		
	その他									
	一般財源		32千円		58千円			94千円		
合計		5,112千円		7,066千円			12,188千円			
人工数	人件費	0.34人	1,972千円	0.31人	1,661千円		0.30人	1,720千円		
総経費		7,084千円		8,727千円			13,908千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	防水改修工事の施工	活動	本山E棟	古開作第二C棟	古開作第二B棟	
			本山E棟	古開作第二C棟	古開作第二B棟	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	市営住宅の安全性、機能性の確保及び計画修繕による建物の長寿命化につながっている。				
R6年度に向けた課題及び改善策	特になし。				
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	令和5年度から、事務事業「長寿命化計画に基づく市営住宅改善事業」に変更する。				



R4年度 事務事業評価シート

132 課・局・室・所(係) 建築住宅課 建築係 事務事業番号 216020302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保	2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
3	市営住宅長寿命化事業	2	市営住宅外壁改修工事				政策的	
事業概要	本事業は国の補助事業で、市営住宅の長寿命化工事を行うものである。長寿命化計画策定時の現況劣化調査において、古開作第二団地J棟とI棟は外壁がいたるところ爆裂しており、要精査と診断されたため、外壁工事を行うものである。				対象	市営住宅の外壁		
					手段	工事による改修		
					意図	市営住宅の安全性、機能性の確保及び計画修繕による建物の長寿命化		

事業期間	R2 年度	～	R9以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳			工事請負費	千円	工事請負費	26,092千円		
					工事請負費(繰越明許)	26,114千円		
	合計					52,206千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金		1/2	千円	1/2	26,103千円		
	県支出金							
	地方債		100%	千円	100%	26,000千円		
	その他							
	一般財源					103千円		
合計					52,206千円			
人工数 人件費			0.24人	1,388千円	0.67人	3,841千円		
総経費		千円		1,388千円		56,047千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	市営住宅外壁改修工事の施工	成果	古開作C棟	古開作C棟	古開作第二I棟	
			施工延期	繰越明許	古開作第二I棟、古開作C棟	
			0.00%	0.00%	200.00%	
2						
3						

成果	市営住宅の安全性、機能性の確保及び計画修繕による建物の長寿命化につながっている。				
R6年度に向けた課題及び改善策	特になし。				
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	令和5年度から、事務事業「長寿命化計画に基づく市営住宅改善事業」に変更する。古開作第二団地J棟の外壁改修工事は、令和5年度に実施する。				

R4年度 事務事業評価シート

133 課・局・室・所(係) 建築住宅課 住宅管理係 事務事業番号 216020401

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保	2	市営住宅の適正管理		
事業概要	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	4	市営住宅入居者の移転促進事業	1	漁民アパート入居者移転促進				政策的
本団地は、昭和43年度と昭和45年度に建設されており、築50年を経過し、老朽化している。また、その土地が借地であることから、市営住宅としての用途を廃止し、土地を賃借人に返還するため、入居者に移転料等を支払い、入居者の円滑な移転を図る。					対象	入居者		
					手段	移転促進		
					意図	将来的な借地の返還		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)			
	市営住宅入居者移転先家賃補助金	90千円	市営住宅入居者移転先家賃補助金	47千円	市営住宅入居者移転先家賃補助金	4千円	市営住宅入居者移転先家賃補助金	203千円		
	市営住宅入居者移転補償金		市営住宅入居者移転補償金		市営住宅入居者移転補償金		市営住宅入居者移転補償金	377千円		
	合計	90千円		47千円		4千円		580千円		
	国庫支出金									
県支出金										
地方債										
その他										
一般財源	90千円		47千円		4千円		580千円			
合計	90千円		47千円		4千円		580千円			
人工数	0.02人	116千円	0.03人	174千円	0.03人	172千円				
総経費		206千円		221千円		176千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	家賃補助世帯数	活動	1世帯	1世帯	1世帯	1世帯
			1世帯	1世帯	1世帯	1世帯
			100.00%	100.00%	100.00%	
2	移転補償費支給世帯数	活動	1世帯	1世帯	1世帯	1世帯
			0世帯	0世帯	0世帯	0世帯
			0.00%	0.00%	0.00%	
3						

成果	漁民アパートからの新規の退去者はなかった。				
R6年度に向けた課題及び改善策	入居者に高齢者が多く、退去が困難な状況である。				
目標達成度	D	R6年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

134 課・局・室・所(係) 都市計画課 管理緑地係 事務事業番号 217010103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	都市公園維持管理事業	3	公園内老朽化施設等撤去事業				政策的	
事業概要	経年劣化等により、使用を禁止している公園内の老朽化した施設について、長年放置することは公園管理上好ましくなく、また、景観も損ねているため、順次撤去していく。				対象	都市公園内施設等		
					手段	老朽化した施設の撤去		
					意図	利用者の安全と美観の確保		

事業期間	R2 年度	～	R9以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)		
支出内訳	江汐公園				江汐公園			
	(ボート乗場)				(見晴らし塔)			
	工事請負費	2,161千円			工事請負費	413千円		
	合計	2,161千円				413千円		
	財源内訳 / 割合	国庫支出金						
	県支出金							
	地方債							
	その他	江汐公園施設整備基金	2,161千円		江汐公園施設整備基金	413千円		
	一般財源							
	合計	2,161千円				413千円		
人工数	人件費	0.10人	580千円		0.05人	287千円		
総経費		2,741千円		千円		700千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	撤去施設数	活動	1	0	1	1
			1	0	1	
			100.00%	0.00%	100.00%	
2						
3						

成果	江汐公園の展望塔(見晴らし塔)は、施設の老朽化に伴い使用禁止となっていたが撤去を行った。このことにより、景観を改善することができただけでなく、公園利用者の安全性も確保することができた。				
R6年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

135 課・局・室・所(係) 都市計画課 都市整備係 事務事業番号 217010106

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全		1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	都市公園維持管理事業	6	大規模公園環境美化事業						政策的
事業概要	竜王山公園、若山公園、江汐公園、物見山公園のソメイヨシノは、近年、テング巢病に感染した桜が目立つようになっている。よって、テング巢病感染部の枝を切除するとともに、テング巢病が重症化したソメイヨシノについては、伐採し、テング巢病に強い品種の桜(エドヒガン等)に更新する。					対象	大規模な都市公園		
						手段	テング巢病感染枝の切除と重症化したソメイヨシノは伐採し、テング巢病に強い品種の桜(エドヒガン等)に更新する。		
						意図	樹木の適切な管理を行う。		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)			R4(決算額)		R5(予算額)		
	(竜王山公園)		(竜王山公園)		(竜王山公園)		(竜王山公園)		(竜王山公園)	
	テング巢処理等	2,761千円	テング巢処理等	2,860千円	テング巢処理等	1,617千円	テング巢処理等	3,000千円		
	(さくら公園)		樹木更新	1,463千円						
	桜整備業務委託料	212千円								
	合計	2,973千円		4,323千円		1,617千円		3,000千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金		ゆめ花開花 50%	1,278千円	ゆめ花開花 50%	809千円				
	地方債									
	その他	9月補正分寄付金	200千円	市町村振興	425千円	市町村振興	270千円	まちづくり魅力基金	3,000千円	
	一般財源		2,773千円		2,620千円		538千円			
	合計	2,973千円		4,323千円		1,617千円		3,000千円		
人工数	人件費	0.02人	116千円	0.15人	868千円	0.10人	573千円			
総経費		3,089千円		5,191千円		2,190千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R2	R3	R4	R5
1	伐採樹木数	3	3	3	3
		0	0	0	
		0.00%	0.00%	0.00%	
2	テング巢病処理数	30	30	30	30
		15	20	28	
		50.00%	67.00%	93.00%	
3	更新樹木数	0	30	0	20
		0	10	0	
		0.00%	33.00%	0.00%	

成果	テングス病の処理を継続的に行うことで、桜の名所としての魅力を維持し、市内外から多くの人々を引き寄せ、公園利用者の増加を促進した。				
R6年度に向けた課題及び改善策	テングス病の継続的な処理だけでなく、木々の過密化を解消するための間伐も実施する。これにより、病気や害虫の発生リスクを低減することを目指す。				
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	R4 県支出金:ゆめはな開花プロジェクト推進事業補助金 その他:ゆめはな開花プロジェクト推進事業助成金				

R4年度 事務事業評価シート

136 課・局・室・所(係) 都市計画課 都市整備係 事務事業番号 217010108

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	都市公園維持管理事業	8	本山岬公園(くぐり岩)整備事業				政策的	
事業概要	くぐり岩で注目を集めている本山岬公園について、今後増加していくことが見込まれる観光客に対応するため、トイレの更新、市道の拡幅、大型バスが駐車可能な駐車場の整備等を計画的に行う予定である。 令和3年8月14日豪雨の影響により、本山岬先端部の展望広場の法面が一部崩落したため、復旧工事を実施した。				対象	本山岬公園		
					手段	トイレの更新、市道の拡幅や大型バスが駐車可能な駐車場の整備、崩落した法面の対策を行う		
					意図	観光客誘致及び快適な公園環境向上の促進		

事業期間	R2	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R2(決算額)		R3(決算額)				R4(決算額)			R5(予算額)	
支出内訳	立木伐採委託料	1,078千円		繰越明許			工事請負費	9,696千円		
				調査設計委託料	4,624千円					
	合計	1,078千円			4,624千円			9,696千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債			地域活性化 90%	4,100千円	緊急自然災害 100%	9,600千円			
	その他	ふるさと支援基金	1,078千円							
	一般財源				524千円		96千円			
合計	1,078千円			4,624千円			9,696千円			
人工数 人件費	0.26人	1,508千円		0.30人	1,735千円		0.30人	1,896千円		
総経費		2,586千円			6,359千円			11,592千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	観光ツアー誘致回数	活動	1	1	1	1
			0	0	0	
			0.00%	0.00%	0.00%	
2						
3						

成果	被災した本山岬公園の法面復旧工事が完了し、令和4年10月下旬からくぐり岩まで立ち入りが可能となった。これにより、観光客の誘致などの機能も回復することができた。				
R6年度に向けた課題及び改善策	トイレ、駐車場の整備については、他事業とのスケジュールにも配慮しつつ、事業の実施時期については検討する。				
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	緊急自然災害防止対策事業債: 充当率100%、交付税措置率70%				

R4年度 事務事業評価シート

137

課・局・室・所(係)

都市計画課

都市整備係

事務事業番号

217010202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	都市公園施設整備事業	2	テニスコート改修事業			運動 交流	政策的
	都市公園内にあるテニスコート3箇所(江汐公園、浜河内緑地、須恵健康公園)について、不陸、ラインの破損が発生しているため改修を行う。				対象	テニスコート		
					手段	テニスコートの改修を行う。		
				意図	テニスコート利用者のため、適切な維持管理を行う。			

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)			
	(江汐公園)				(須恵健康公園)		(浜河内緑地)			
	工事請負費	1,314千円			工事請負費	19,569千円	工事請負費	28,350千円		
	2面部分補修				4面改修		4面改修			
	合計	1,314千円				19,569千円		28,350千円		
	財源内訳/割合	国庫支出金								
	県支出金									
	地方債				75%	7,100千円	75%	13,300千円		
	その他	江汐公園基金	1,314千円		スポーツ振興くじ助成金	10,045千円	スポーツ振興くじ助成金	10,604千円		
	一般財源					2,424千円		4,446千円		
	合計	1,314千円				19,569千円		28,350千円		
人工数	人件費	0.10人	580千円			0.10人	573千円			
総経費		1,894千円			千円		20,142千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R2	R3	R4	R5
1	改修箇所数	活動	1	2	1
			1	0	1
			100.00%	0.00%	100.00%
2	テニスコート利用者(市全体)	成果	11235	13998	15306
3					

成果	令和3年度から5年度にかけて、須恵健康公園のテニスコートの利用者数は増加傾向にあり、新型コロナウイルスの感染拡大以前の状況に回復している。テニスコートの改修により、手軽に運動を楽しむことができる環境が整備され、公園の利用促進を図ることができた。				
R6年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成のうち地域スポーツ施設整備助成事業により実施。				

R4年度 事務事業評価シート

138

課・局・室・所(係)

都市計画課

管理緑地係

事務事業番号

217010203

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
事業概要	2	都市公園施設整備事業	3	管理施設改修事業				政策的
	都市公園内にある管理施設について、長寿命化を図るための改修等を行う。				対象	都市公園内の管理施設		
					手段	施設の改修		
				意図	公園の利用促進を図る			

事業期間	R4 年度	～	R9以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
					江汐公園		江汐公園	
					(トイレ改修)		(外灯改修)	
					工事請負費	1,100千円	工事請負費	862千円
	合計					1,100千円		862千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				江汐公園施設整備基金	1,100千円	江汐公園施設整備基金	862千円
	一般財源							
合計					1,100千円		862千円	
人工数	人件費				0.05人	287千円		
総経費		千円		千円		1,387千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R2	R3	R4	R5
1	完了施設数			1	6
	活動			1	
				100.00%	
2					
3					

成果	江汐公園の管理棟にある女子トイレ2基については和式であったが、洋式に改修を行った。これにより、利便性の向上だけでなく、衛生面も大幅に改善を図れた。				
R6年度に向けた課題及び改善策	須恵健康公園の体育館内の照明及び園路に設置されている照明については、水銀灯からLED灯へ交換する。これにより照度の確保はもとより、光熱費等の維持管理コストの低減も図る。灯具の交換については、施設利用者への配慮を含めた計画を立案する必要がある。				
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

139

課・局・室・所(係)

都市計画課

都市整備係

事務事業番号

217010205

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全		1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	都市公園施設整備事業	5	園路改修事業				運動 交流	政策的
	東沖緑地駐車場は経年劣化により、舗装等が傷んでいるため、改修を行う。また、有帆公園の進入路は、未舗装のため舗装を行う。令和3年8月14日の大雨により江汐公園園路3ヵ所が破損し、園路の一部に段差が生じている。公園利用者の安全を確保するため舗装の改修工事を行う。					対象	東沖緑地、有帆公園、江汐公園		
					手段	園路の改修			
					意図	都市公園施設の適正管理			

事業期間	R4 年度	～	R6 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					江汐公園			
					工事請負費	4,519千円		
	合計					4,519千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				江汐公園施設整備基金	4,519千円		
	一般財源							
合計					4,519千円			
人工数 人件費					0.20人	1,147千円		
総経費			千円			5,666千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R2	R3	R4	R5
1	完了施設数	活動		1	
				1	
				100.00%	
2					
3					

成果	被災した江汐公園では、園路や水路などの機能を回復することで、公園利用者が安全に利用できる環境が整備できた。				
R6年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	令和4年度 江汐公園の園路改修は施設整備基金を活用。				



R4年度 事務事業評価シート

140

課・局・室・所(係)

都市計画課

都市整備係

事務事業番号

217010207

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
2	都市公園施設整備事業	7	竜王山公園オートキャンプ場施設等更新事業					政策的
事業概要	竜王山公園オートキャンプ場の各施設について、老朽化が進んでいるため更新を行う。				対象	竜王山公園オートキャンプ場利用者		
					手段	トレーラーハウス等の更新		
					意図	宿泊人数の増加促進		

事業期間	R4 年度	～	R9以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
					(トレーラーハウス)		(残留塩素装置)	
					工事請負費	1,227千円	工事請負費	8,945千円
					(出入口ゲート)		(出入口ゲート)	
					機械器具借上料	209千円	機器類賃貸借	1,254千円
	合計					1,436千円		10,199千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債						一般	6,700千円
	その他							
	一般財源				1,436千円		3,499千円	
合計					1,436千円		10,199千円	
人工数	人件費		0.10人	578千円	0.10人	573千円		
総経費		千円		578千円		2,009千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	トレーラーハウス宿泊人数	成果	196	80	0	
2	オートキャンプ場全体利用者	成果	16174	18811	19774	
3	キャンプ利用者	成果	10,493	12006	15186	

成果	使用が困難となっていた老朽化したトレーラーハウスを撤去したことで、個別のサイトを増設でき、竜王山公園オートキャンプ場の利用促進を図ることができた。				
R6年度に向けた課題及び改善策	施設への埋設高圧電線は、定期点検によって老朽化が判明し、漏電などの事故のリスクが増えているため、施設の更新が必要となっている。現在は、高圧電線の需要が供給を上回っており、入手までに期間を要する。				
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

141

課・局・室・所(係)

都市計画課

都市整備係

事務事業番号

217010208

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	都市公園施設整備事業	8	スマイルエイジングパーク事業			運動 交流	政策的
	健康寿命の延伸を目指す、スマイルエイジング事業の一環として、市内4か所の都市公園等で、ウォーキングコースの園路改修や健康遊具の設置をすすめ、市民の運動習慣のきっかけづくりのための環境整備を行う。 令和2年度は、須恵健康公園において、健康遊具7基を設置した。 令和3年度は、江汐公園、厚狭川河畔寝太郎公園ゆめ広場(令和4年度へ繰越)の整備を実施した。 令和4年度は、糸根公園と青年の家をスマイルエイジングパークとして一体的に整備するため、糸根公園整備基本計画を策定した。				対象	須恵健康公園、江汐公園、糸根公園、厚狭川河畔寝太郎公園ゆめ広場		
					手段	健康遊具の設置及びウォーキング用園路の改修		
					意図	運動習慣のきっかけづくりと健康寿命の延伸		

事業期間	R2 年度	～	R9以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)		
支出内訳	須恵健康公園		江汐公園		糸根公園			
	(健康遊具設置)		(健康遊具設置)		計画策定委託料	9,482千円		
	工事請負費	4,879千円	工事請負費	5,817千円	繰越明許			
	(園路改修)		厚狭川河畔		厚狭川河畔			
	工事請負費	7,449千円	寝太郎公園ゆめ広場		寝太郎公園ゆめ広場			
			工事請負費	2,300千円	工事請負費	3,651千円		
			(健康遊具設置)		(健康遊具設置)			
合計		12,328千円		8,117千円		13,133千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金		※1 1/2	2,600千円	※1 1/2	2,846千円		
	地方債	75%	5,500千円					
	その他	寄附金 まちづくり魅力基	4,879千円	※2	5,517千円	※3	6,636千円	
	一般財源		1,949千円				3,651千円	
合計		12,328千円		8,117千円		13,133千円		
人工数	人件費	0.40人	2,320千円	0.40人	2,313千円	0.55人	3,329千円	
総経費		14,648千円		10,430千円		16,462千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	健康遊具設置公園数	活動	1	2	1	
			1	1	1	
			100.00%	50.00%	100.00%	
2	スマイルエイジングパーク整備基本計画の策定	活動			計画策定	
					計画策定	
					100.00%	
3						

成果	令和4年度は糸根公園整備事業のスタートとして基本計画を作成した。運動習慣形成のきっかけとなるような健康遊具や園路、運動施設の整備を計画に取り入れた。また、アンケート調査とワークショップを開催することで、施設再整備に向けた地域のニーズを把握することができた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	令和6年度には、次の段階である設計業務を円滑に進めるため、用地測量を実施する。また、関係部署や関連機関との協議や打ち合わせを行い、手戻りが発生しないように事業を推進する。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	令和4年度に策定した糸根公園整備基本計画に基づき、地元との合意形成を図りながら事業を進める。 ※1 ゆめはな開花プロジェクト推進事業補助金 ※2内訳:ふるさと支援基金(4,650千円)・市町村振興協会助成金(867千円) ※3内訳:まちづくり魅力基金(5,688千円)・市町村振興協会助成金(948千円)					

R4年度 事務事業評価シート

142

課・局・室・所(係)

下水道課

計画係

事務事業番号

218040101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	4	下水道の整備と管理	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
1	公共下水道整備事業	1	下水道管渠整備事業				政策的
事業概要	平成25年度に国土交通省により、今後10年程度を目途に汚水処理の概成を目指した各種汚水処理施設の整備計画の策定と実施が提案された。本市においても計画的に汚水管渠整備を推進し、普及率の向上に努める。令和4年度に山口県汚水処理施設整備構想の見直しを行い事業計画の変更をおこなったので、令和8年度の公共下水道の概成を目指し事業を実施していく。				対象	汚水管渠	
					手段	汚水管渠の整備	
					意図	公共下水道の汚水管網の整備を推進し、普及率の向上を図る。	

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	下水道事業会計
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)			
	調査設計委託料(補助)	17,380千円	調査設計委託料(補助)	14,003千円	調査設計委託料(補助)	12,100千円	調査設計委託料(補助)	10,000千円		
	工事請負費(補助)	266,753千円	工事請負費(補助)	312,776千円	工事請負費(補助)	224,928千円	工事請負費(補助)	265,000千円		
	補償金(補助)	7,617千円	補償金、土地購入費(補助)	2,745千円	補償金(補助)	8,936千円	補償金(補助)	17,000千円		
	用地購入費	469千円	調査設計委託料(単独)	13,933千円	補償金(単独)	1,858千円	調査設計委託料(単独)	10,000千円		
	調査設計委託料(単独)	12,976千円	工事請負費(単独)	60,813千円	工事請負費(単独)	77,655千円	工事請負費(単独)	153,000千円		
	工事請負費(単独)	52,412千円	補償金(単独)	895千円	計画策定委託料(単独)	14,045千円	補償金(単独)	10,000千円		
	補償金(単独)	3,234千円	調査委託(純単)	7,816千円	調査委託料(純単)	2,594千円	固定資産購入費(純単)	1,232千円		
合計	360,841千円		412,981千円		342,116千円		466,232千円			
財源内訳/割合	国庫支出金	社会資本50%	146,021千円	社会資本50%	164,762千円	社会資本50%	122,982千円	社会資本50%	146,000千円	
	県支出金									
	地方債	下水道事業債100%	178,574千円	下水道事業債100%	225,111千円	下水道事業債100%	197,717千円	下水道事業債100%	300,000千円	
	その他	受益者負担金	29,980千円	受益者負担金	15,836千円	受益者負担金	18,823千円	受益者負担金	19,000千円	
	一般財源	繰入金	6,266千円	繰入金	7,272千円	繰入金	2,594千円	繰入金	1,232千円	
	合計	360,841千円		412,981千円		342,116千円		466,232千円		
人工数	人件費	3.30人	19,058千円	2.70人	15,657千円	2.77人	16,935千円			
総経費	379,899千円		428,638千円		359,051千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	管渠整備延長	活動	3,000m	3,000m	2,000m	1,200m
			2,136m	3,902m	4,165m	
			71.20%	130.07%	208.25%	
2	公共下水道道普及率 (公共下水道処理区域人口÷住民基本台帳人口×100)	成果	57.2%	60.6%	60.6%	60.6%
			55.6%	58.0%	59.1%	
			94.60%	91.70%	97.52%	
3	汚水処理人口普及率 (公共下水道処理区域人口+農業集落排水区域人口+浄化槽利用人口)÷住民基本台帳人口×100)	成果	-	-	83.7%	84.70%
			82.3%	82.8%	84.42%	
			-	-	100.84%	

成果	上の郷などの大型団地の接続に伴い、管渠整備延長が大きく目標を上回る結果となった。普及率については、人口減少の影響により、伸び悩んでいる。				
R6年度に向けた課題及び改善策	令和8年度末までに公共下水道の概成を目指すため、投資効果が高い大規模団地の接続を中心に、整備を推進する予定。また、汚水処理人口普及率が目標を下回っているため、公共下水道の整備に加え、浄化槽設置を推進する必要がある。				
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	決算額のうち繰越分:工事請負費(補助)87,577千円、工事請負費(単独)16,315千円				

R4年度 事務事業評価シート

143

課・局・室・所(係)

下水道課

維持係

事務事業番号

218040103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	4	下水道の整備と管理	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
1	公共下水道整備事業	3	小野田西地区農集公共下水道接続事業				政策的
事業概要	平成28年度に実施した汚水処理施設整備構想の見直しの結果、小野田西地区農業集落排水施設の維持更新費用と公共下水道へ統合する場合の長期的な経済比較を行った結果、統合した方が有利と判定された。令和2年度に接続工事が完了し、令和3年4月1日から公共下水道として供用開始。 小野田西地区農業集落排水施設の廃止に伴い、処理場内の機器類の撤去や処理槽の埋め戻し等を年次的に行う。				対象	小野田西地区農業集落排水施設	
					手段	汚水処理施設整備構想の見直し結果に基づき、公共下水道に接続する。また、廃止後の施設について、適切な処置を行う。	
					意図	処理場の維持管理費を削減する。	

事業期間	R1以前	年度	～	R5	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	下水道事業会計
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)			
	工事請負費	34,961千円	委託料	11,943千円	固定資産除却費	682千円				
	合計	34,961千円		11,943千円		682千円				
財源内訳 / 割合	国庫支出金	社会資本50%	17,480千円							
	県支出金									
	地方債	下水道事業債100%	17,400千円							
	その他			使用料	11,943千円	使用料	682千円			
	一般財源	繰入金	81千円							
合計		34,961千円		11,943千円		682千円				
人工数	人件費	0.45人	2,599千円	0.55人	3,189千円	0.07人	401千円			
総経費		37,560千円		15,132千円		1,083千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	接続工事	活動	接続工事			
			発注準備			
			30.00%			
2	廃止後の施設処理	活動	-	汚泥引抜・消毒	機器撤去(委託)	-
				完了	完了	
			100.00%	100.00%		
3						

成果	小野田西の機器撤去の詳細設計を完了した。				
R6年度に向けた課題及び改善策	人件費高騰により、機器撤去工事の発注を分割する事も検討する必要がある。				
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

144

課・局・室・所(係)

下水道課

小野田水処理センター

事務事業番号

218040104

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	4	下水道の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	公共下水道整備事業	4	処理場・ポンプ場長寿命化事業				政策的
	小野田水処理センターは、昭和56年供用開始、山陽水処理センターは、平成元年供用開始、下水道ポンプ場(小野田処理区)は平成8年供用開始、下水道ポンプ場(厚狭処理区)は平成6年供用開始、どの施設も経年劣化による機能低下が顕著になっている。これらの機能を回復させるため施設の長寿命化・改築・更新・及び未整備施設の整備を行う。 【12月補正】 防災・安全交付金事業について、計画策定委託料の入札減の調整と交付金の追加配分による事業費の増額を行うもの。				対象	小野田水処理センター、山陽水処理センター、高千帆汚水中継ポンプ場、竜王汚水中継ポンプ場、厚狭汚水中継ポンプ場		
					手段	事業計画に基づき施設の長寿命化・改築・更新を行う。		
					意図	良好な汚水・汚泥処理を可能とし環境保全を推進すると共に、汚水中継ポンプ場の機能を維持し、汚水の停滞を防ぐ。		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	下水道事業会計
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)			
	工事請負費	170,210千円	工事請負費	91,600千円	工事請負費(補助)	391,541千円	工事請負費(補助)	425,000千円		
	調査設計委託料	6,512千円	調査設計委託料	4,900千円	工事請負費(単独)	164千円	工事請負費(単独)	10,000千円		
	【繰越明許】		【繰越明許】		工事請負費(純単)	80千円	調査設計委託料	20,000千円		
	工事請負費	178,770千円	工事請負費(補助)	298,106千円	計画策定委託料(補助)	24,165千円				
			工事請負費(単独)	49千円	調査設計等委託料(補助)	11,765千円				
			工事請負費(純単)	70千円						
			調査設計委託料	8,030千円						
合計		355,492千円		402,755千円		427,715千円				455,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金	社会資本50%、55%	180,694千円	社会資本50%、55%	209,495千円	社会資本50%、55%	229,940千円	社会資本50%、55%	234,500千円	
	県支出金									
	地方債	下水道事業債100%	174,689千円	下水道事業債100%	193,189千円	下水道事業債100%	197,695千円	下水道事業債100%	220,500千円	
	その他									
	一般財源	繰入金	109千円	繰入金	71千円	繰入金	80千円			
合計		355,492千円		402,755千円		427,715千円				455,000千円
人工数	人件費	2.40人	12,248千円	1.90人	8,588千円	1.56人	7,750千円			
総経費		367,740千円		411,343千円		435,465千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	山陽小野田市ストックマネジメント計画	活動	詳細設計	詳細設計	詳細設計	詳細設計
			1件	0件	1件	
			100.00%	0.00%	1件	
2	長寿命化・改築・更新及び未整備施設整備工事	活動	4件	3件	7件	4件
			1件	4件	8件	
			25.0%	133.3%	114.29%	
3	耐震補強工事	活動	0件	0件	0件	0件
			0件	0件	0件	
			-	-	-	

成果	ストックマネジメント計画に沿って改築更新を行った。R4年度は3次補正を利用し1件改築更新を追加で行う事が出来た。				
R6年度に向けた課題及び改善策	燃料高騰、人件費高騰により、ストックマネジメント計画通りに改築更新を行う事が今後困難と予想される。				
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	決算金額のうち繰越分:工事請負費(補助)229,425千円、工事請負費(単独)150千円、工事請負費(純単)80千円、調査設計等委託料(補助)11,765千円				

R4年度 事務事業評価シート

145 課・局・室・所(係) 下水道課 維持係 事務事業番号 218040202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	4	下水道の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
2	公共下水道維持管理事業	2	不明水対策事業				政策的	
事業概要	平成30年の豪雨により、山陽地区の一部の地域において汚水量が急激に増加し、市民の生活環境を確保することが一時的に困難となった。汚水以外の不明水流入を防止する対策を実施するにあたり、山陽地区の流量調査を実施し山陽水処理センターの安定的な運転及び市民生活環境の改善を目指す。				対象	下水道管渠		
					手段	下水道管渠の不明水調査		
					意図	山陽水処理センターの安定的な運転及び生活環境の確保		

事業期間	R1以前	年度	～	R5	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	下水道事業会計
R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)				
支出内訳				調査委託料	4,620千円	調査委託料	7,271千円	修繕費	10,000千円	
								調査委託料	5,000千円	
合計					4,620千円			7,271千円		15,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他			使用料	4,620千円	使用料	7,271千円	使用料	15,000千円	
	一般財源									
合計					4,620千円			7,271千円		15,000千円
人工数	人件費	0.20人	1,155千円				0.52人	2,981千円		
総経費			1,155千円		4,620千円			10,252千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	汚水管渠の流量調査(不明水調査)	活動	調査	調査	調査	調査
			未発注	完了	完了	
			0.00%			
2						
3						

成果	概ね、調査は完了したが不明水の原因を特定するには時間を要すると考えている。				
R6年度に向けた課題及び改善策	引き続き原因を特定するための調査が必要である。				
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

146

課・局・室・所(係)

下水道課

維持係

事務事業番号

218040401

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	4	下水道の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
4	農業集落排水整備事業	1	農業集落排水施設機能強化事業				政策的	
事業概要	福田地区及び仁保の上地区農業集落排水処理施設は、建設から20年以上経過し、設備が老朽化しているため、施設の長寿命化及び維持管理の低減を目的にストックマネジメントの手法を用いた農業集落排水施設の維持管理・更新を実施する。				対象	福田地区及び仁保の上農業集落排水施設		
					手段	ストックマネジメントの手法を用いた農業集落排水施設の改築・更新を実施する。		
					意図	老朽化している施設の長寿命化を図る。		

事業期間	R2	年度	～	R6	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	下水道事業会計
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)			R4(決算額)		R5(予算額)		
	調査委託料	1,540千円	計画策定委託料	3,000千円	調査設計委託料	2,000千円	工事請負費(補助)	13,000千円		
							工事請負費(純単)	2,000千円		
	合計	1,540千円		3,000千円		2,000千円		15,000千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金			団体営農村整備事業補助金50%	1,500千円	団体営農村整備事業補助金50%	1,000千円	団体営農村整備事業補助金50%	6,500千円	
	地方債					下水道事業債100%	1,000千円	下水道事業債100%	6,500千円	
	その他	使用料	1,540千円	使用料	1,500千円					
	一般財源							繰入金	2,000千円	
合計	1,540千円		3,000千円		2,000千円		15,000千円			
人工数	人件費	0.10人	580千円	0.20人	1,157千円	0.36人	2,064千円			
総経費		2,120千円		4,157千円		4,064千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	福田地区農業集落排水処理施設機能強化	活動	簡易診断	調査計画策定	詳細設計	工事
			簡易診断実施	完了	完了	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2	仁保の上地区農業集落排水処理施設機能強化	活動	簡易診断	調査計画策定	詳細設計	工事
			簡易診断実施	完了	完了	
			100.00%	100.00%	100.00%	
3						

成果	詳細設計を実施し、機能強化工事実施に向けて準備が完了した。				
R6年度に向けた課題及び改善策	R5から引き続き、機能強化の工事を実施する。				
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

147

課・局・室・所(係)

下水道課

管理係

事務事業番号

218050101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	5	合併浄化槽の整備			
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	浄化槽整備推進事業	1	浄化槽整備推進事業						政策的
事業概要	汚水処理施設整備構想において浄化槽での整備が効率的かつ経済的であったとした区域の汚水処理人口普及率向上を図るため、合併処理浄化槽設置等に係る補助金を交付する。また、令和5年度以降においては、公共下水道事業計画区域から除外した区域の補助額を従来の補助額より上乘せすることで、個人負担の均衡を保つこととする。これらのことにより、生活環境の向上と公共水域の保全を図る。					対象	浄化槽設置者		
						手段	浄化槽設置者に対する補助金の交付		
						意図	汚水処理人口普及率の向上、快適な生活環境の確保と水質の保全		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)				
支出内訳	浄化槽設置整備事業補助金	16,808千円		浄化槽設置整備事業補助金	19,492千円	浄化槽設置整備事業補助金	24,380千円	浄化槽設置整備事業補助金	71,633千円	
	合計	16,808千円		19,492千円		24,380千円		71,633千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金	循環型社会形成推進交付金(1/3)	10,562千円	循環型社会形成推進交付金(1/3)	1,067千円	循環型社会形成推進交付金(1/3)	8,531千円	循環型社会形成推進交付金(1/3)	20,030千円	
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源		6,246千円		18,425千円		15,849千円		51,603千円	
合計		16,808千円		19,492千円		24,380千円		71,633千円		
人工数	人件費	0.35人	1,853千円	0.50人	2,721千円	0.42人	2,760千円			
総経費		18,661千円		22,213千円		27,140千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R2	R3	R4	R5	
1	浄化槽設置整備事業補助金の新規交付基数	活動	85基	85基	60基	100基
			26基	50基	45基	
			30.59%	58.82%	75.00%	
2	汚水処理人口普及率	成果	-	-	83.7%	84.7%
			82.3%	82.8%	84.4%	
			-	-	100.84%	
3						

成果	従来からの補助制度に加えて、令和5年度以降は、公共下水道事業計画区域の縮小に伴う補助金の上乗せを実施する。あわせて、事業計画から外れた区域については、1回に限定して既存の合併処理浄化槽から更新に対する補助金も交付する。				
R6年度に向けた課題及び改善策	従来からの補助制度に加えて、上乗せを実施していることの周知を図り、汚水処理人口普及率の向上を図る。				
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	汚水処理人口普及率は、公共下水道、農業集落排水及び浄化槽での処理人口を合算して算出したものである。				



R4年度 事務事業評価シート

148 課・局・室・所(係) 土木課 道路整備係 事務事業番号 219010101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	1	道路網の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	道路新設改良事業	1	市道新生町1号線道路改良事業				政策的	
事業概要	当路線は、幅員2m程度の生活道路で車の離合ができないなど日常生活に支障をきたしているため、道路を拡幅する。 延長L=567m 幅員W=6.0m				対象	市民		
					手段	用地買収、拡幅工事		
					意図	市民の利便性の向上		

事業期間	R1以前	年度	～	R5	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)			
	工事請負費(現)	2,100千円	工事請負費(現)	6,000千円	工事請負費(現)	11,385千円				
	工事請負費(繰)	8,086千円	工事請負費(繰)	4,614千円	工事請負費(繰)	11,243千円				
	用地購入費		用地購入費	480千円						
	補償金									
	4,614,400円		11,242,500円							
	(R2年度→R3度)		(R3年度→R4年度)							
合計		10,186千円		11,094千円		22,628千円				
財源内訳 / 割合	国庫支出金	50%	4,944千円	50%	5,465千円	50%	11,183千円			
	県支出金									
	地方債	90%	4,400千円	90%	4,800千円	90%	10,000千円			
	その他									
	一般財源		842千円		829千円		1,445千円			
合計		10,186千円		11,094千円		22,628千円				
人工数	人件費	0.23人	1,334千円	0.18人	1,041千円	0.18人	1,032千円			
総経費		11,520千円		12,135千円		23,660千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	事業進捗率(事業費ベース)(%)	成果	89	94	97	
			79	85	97	
			88.76%	90.43%	100.00%	
2						
3						

成果	生活道路を拡幅し、車両の離合等を可能にするもので、重要な事業として進捗している。					
R6年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	休廃止	コスト	皆減	
特記事項	R4工事請負費には、R3年度繰越予算(工事請負費:11,242,500円)を含む。					

R4年度 事務事業評価シート

149 課・局・室・所(係) 土木課 道路整備係 事務事業番号 219010102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	1	道路網の整備			
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	道路新設改良事業	2	市道浜崎1号線他道路改良事業						政策的
事業概要	当路線は、国道190号と埴生市街地を結ぶ重要な路線であり、前場川の拡幅に併せて道路を拡幅し歩道を設置する。延長L=170m 幅員W=10.0m 片側歩道 関連路線：市道浜崎1号線、市道前場川左岸線、市道栗坪下市線					対象	市民		
						手段	県へ工事委託		
						意図	歩行者の安全と市民の利便性の向上		

事業期間	R1以前	年度	～	R5	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)			R4(決算額)		R5(予算額)		
	工事委託料(現)		工事委託料(現)	千円	工事委託料(現)	千円	工事委託料	38,062千円		
	工事委託料(繰)	30,200千円	工事委託料(繰)	44,872千円	工事委託料(繰)	12,842千円				
		44,872,000円		12,842,000円		13,503,000円				
		(R2年度→R3年度)		(R3年度→R4年度)		(R4年度→R5年度)				
合計		30,200千円		44,872千円		12,842千円			38,062千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金	50%	15,100千円	50%	22,436千円	50%	6,421千円	50%	19,031千円	
	県支出金									
	地方債	90%	11,800千円	90%	20,100千円	90%	5,700千円	90%	17,100千円	
	その他									
	一般財源		3,300千円		2,336千円		721千円		1,931千円	
合計		30,200千円		44,872千円		12,842千円		38,062千円		
人工数	人件費	0.13人	754千円	0.13人	752千円	0.07人	401千円			
総経費		30,954千円		45,624千円		13,243千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	事業進捗率(事業費ベース)(%)	成果	83	91	92	100
			71	88	89	
			85.54%	96.70%	96.74%	
2						
3						

成果	周防高潮対策の一環として行われている事業であり、防災面で非常に重要な事業として進捗している。				
R6年度に向けた課題及び改善策	引続き山口県と連携し、事業を推進する必要がある。				
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	R4決算額は、R3年度の繰越予算(工事委託料:12,842,000円)である。				

R4年度 事務事業評価シート

150

課・局・室・所(係)

土木課

管理係

事務事業番号

219010303

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	1	道路網の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
3	市道管理事業	3	道路台帳整備事業(臨時)				行政内部管理	
事業概要	道路法で作成が義務つけられている道路台帳について、毎年適切に更新する。				対象	市道		
					手段	新設・改良または廃止した市道の調書及び図面の更新		
					意図	法に基づく台帳整備		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)				
支出内訳	道路台帳整備委託料	4,784千円		道路台帳整備委託料	4,731千円	道路台帳整備委託料	7,976千円	道路台帳整備委託料	9,403千円	
	合計		4,784千円		4,731千円		7,976千円		9,403千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源		4,784千円		4,731千円		7,976千円		9,403千円	
合計		4,784千円		4,731千円		7,976千円		9,403千円		
人工数 人件費	0.10人	580千円		0.17人	983千円	0.21人	1,204千円			
総経費		5,364千円		5,714千円		9,180千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	台帳修正(修正延長)(m)	活動	修正延長	修正延長	修正長	
			1549	2735	2764	
2	市道(実延長)(m)	活動	実延長	実延長	実延長	
			322076	322475	322463	
3						

成果	道路法で義務付けられていることから適切に更新ができた。				
R6年度に向けた課題及び改善策	道路台帳は道路行政の基礎資料となるため最新の状態を維持していく。				
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

151 課・局・室・所(係) 土木課 道路整備係 事務事業番号 219010503

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	1	道路網の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	5	道路維持補修事業	3	道路橋りょう維持補修事業(工事費・臨時)				政策的
	道路の維持管理で必要な側溝等の道路構造物の新設や改良を行う。 経常的経費だけでは山積する住民の要望に応えられないため、臨時的経費において対応する。				対象	市道		
					手段	舗装改修、側溝改修、付属施設改修		
				意図	安全性、利便性の向上			

事業期間	R2 年度	～	R9以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
	調査設計委託料		調査設計委託料	385千円	工事請負費	3,000千円	工事請負費	3,000千円
	工事請負費	3,208千円	工事請負費	3,942千円				
	合計	3,208千円		4,327千円		3,000千円		3,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	3,208千円		4,327千円		3,000千円		3,000千円
合計	3,208千円		4,327千円		3,000千円		3,000千円	
人工数	0.08人	464千円	0.36人	2,082千円	0.14人	803千円		
総経費		3,672千円		6,409千円		3,803千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	維持補修箇所(箇所)	成果	工事箇所	工事箇所	工事箇所	工事箇所
			2	2	1	
2			2	2	1	
3						

成果	市道における道路構造物の維持管理を推進する上で、非常に効果を発揮している事業である。					
R6年度に向けた課題及び改善策	今後も引き続き老朽化した舗装や側溝改修を行い、市道の維持管理を推進するとともに、市民から寄せられた要望に迅速に対応できるようコストを拡充し事業進捗を図る必要がある。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項	自治会より市道の安全性、利便性向上について度重なる要望を頂いているが、現状の予算では長期的にお待ち頂く状態にある。					

R4年度 事務事業評価シート

152 課・局・室・所(係) 土木課 管理係 事務事業番号 219010602

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	1	道路網の整備			
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
6	小規模土木事業	2	小規模土木事業(臨時)						政策的
事業概要	生活に密接する公共性の高い道路、水路等を整備する自治会に助成金を交付する。 事業費限度額:200万円 補助率:70%					対象	市民(自治会)		
						手段	自治会の事業を審査し、補助金を交付		
						意図	市民の生活環境の向上を図る		

事業期間	R1以前	年度	~	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)				
支出内訳	小規模土木事業助成金	千円	小規模土木事業助成金	7,669千円	小規模土木事業助成金	4,186千円	小規模土木事業助成金	2,763千円		
	合計				7,669千円		4,186千円		2,763千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	千円			7,669千円		4,186千円		2,763千円	
合計				7,669千円		4,186千円		2,763千円		
人工数	人	0.15人	870千円	0.44人	2,545千円	0.57人	2,935千円			
総経費		870千円		10,214千円		7,121千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	実施件数(件)	活動	57	58	60	
2	待機件数(件)	活動	36	52	46	
3						

成果	60件の事業に対し補助金を交付し、住民の利便性の向上に寄与することができた。				
R6年度に向けた課題及び改善策	待機件数が増加し、待機期間が延びないよう必要な予算を確保していく。また、自治会規模に関係なく活用できるよう適宜、制度を見直していく。				
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

153 課・局・室・所(係) 商工労働課 公共交通対策室 事務事業番号 219020101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	地域交通推進事業	1	JR美祢線利用促進事業				政策的	
事業概要	JR美祢線の利用促進を図るため、本市と美祢市、長門市等が協働してJR美祢線利用促進協議会を設置し、企画列車の運行や旅行商品の創設、利用助成事業などを行う。 令和4年度は、美祢線全線開通100周年の前年に当たることから、コロナ禍で落ち込んだ観光客誘致による利用促進に注力するとともに、利用助成制度の周知を図るなどし、JR美祢線の利用促進に努める。				対象	JR美祢線利用促進協議会		
					手段	JR美祢線利用促進協議会負担金の交付		
					意図	JR美祢線の利用促進		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)			
	JR美祢線利用促進	200千円	JR美祢線利用促進	1,300千円	JR美祢線利用促進	1,300千円	JR美祢線利用促進	1,300千円	協議会負担金	1,300千円
	協議会負担金		協議会負担金		協議会負担金		協議会負担金			
	合計	200千円		1,300千円		1,300千円		1,300千円		1,300千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他								まちづくり魅力基金	1,300千円
	一般財源	200千円		1,300千円		1,300千円		1,300千円		
合計	200千円		1,300千円		1,300千円		1,300千円		1,300千円	
人工数	0.10人	580千円	0.15人	868千円	0.16人	917千円				
総経費		780千円		2,168千円		2,217千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	JR美祢線の協議会事業による利用者数(1日) (三市協議会の目標)	成果	58人	61人	78人	94人
			58人	58人	56人	
			100.00%	95.08%	71.79%	
2	JR美祢線の1日あたりの乗降者数	成果	できるだけ多く	できるだけ多く	できるだけ多く	できるだけ多く
			391人	365人	367人	
			-	-	-	
3						

成果	令和6年3月の全線開通100周年に向け、ラッピング列車の運行や、JR小野田線とコラボした「国鉄わたしの旅復刻スタンプラリー」、吉本興行と連携した「お笑い列車in美祢線」の開催、特別列車「長門湯本温泉うたあかり号」の運行など、観光利用を中心に話題性に富んだ各般の施策を展開した。				
R6年度に向けた課題及び改善策	令和5年4月に地域交通法が改正され、全国的にJRローカル線の再構築を図ることが急務となっている。そうした中、同年7月の大雨災害により、JR美祢線は一部橋梁が流出するなど甚大な被害を受けたところである。今後は、県や沿線市と連携し、JRや国に対して早期復旧を要望するとともに、沿線地域の望ましい公共交通の在り方についても協議していく必要がある。				
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R4年度 事務事業評価シート

154

課・局・室・所(係)

商工労働課

公共交通対策室

事務事業番号

219020102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	地域交通推進事業	2	JR小野田線利用促進事業				政策的
	JR小野田線の利用促進を図るため、本市の市民団体や学校関係者等からなるJR小野田線利用促進協議会を設置し、利用者目線で利用促進に向けた協議のほか、利用補助制度や啓発活動等を実施する。				対象	JR小野田線利用促進協議会		
					手段	JR小野田線利用促進協議会への補助金交付		
					意図	JR小野田線の利用促進		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)			R3(決算額)			R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳	JR小野田線利用	43千円		JR小野田線利用	113千円		JR小野田線利用	213千円	JR小野田線利用	300千円
	促進協議会補助金			促進協議会補助金			促進協議会補助金		促進協議会補助金	
	合計		43千円			113千円			213千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他								まちづくり魅力基金	300千円
	一般財源		43千円			113千円			213千円	
合計		43千円			113千円			213千円		300千円
人工数	人件費	0.05人	290千円	0.08人	463千円		0.11人	631千円		
総経費		333千円			113千円			844千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	JR小野田線の一日常たりの乗降者数	成果	できるだけ多く	できるだけ多く	できるだけ多く	できるだけ多く
			405人	402人	414人	
2	JR小野田線利用促進協議会の開催	活動	1回	1回	1回	1回
			1回	1回	1回	
			100.00%	100.00%	100.00%	
3						

成果	令和4年度は、利用助成事業の実施に加え、美祢線利用促進協議会や宇部線利用促進協議会と連携し、「国鉄わたしの旅復刻スタンプラリー」や、大人気アニメ「エヴァンゲリオン」とタイアップしたスマホスタンプラリーを開催し、市内外から幅広く利用者の創出を図るなど、更なる利用促進に努めた。					
R6年度に向けた課題及び改善策	令和5年4月に地域交通法が改正され、全国的にJRローカル線の再構築を図ることが急務となっている。そこで、沿線住民の生活利用が促進されるよう、マイルール意識の着実な醸成を図るとともに、沿線市や県、JR西日本、学識経験者とともに、小野田線の利用低迷に係る原因分析と一層の利用促進に資する対策の協議を行う。					
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性				
	成果	拡充	コスト	拡大		
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

155 課・局・室・所(係) 商工労働課 公共交通対策室 事務事業番号 219020103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	地域交通推進事業	3	駅舎バリアフリー化整備事業				政策的
	バリアフリー法の整備目標(1日の利用者数3000人以上の鉄道駅)を踏まえ、JR厚狭駅にエレベーター等を設置するバリアフリー化工事を行う。(国1/3、地方1/3、JR1/3) 【R4事業内容】 在来線:内方線付き点状ブロック設置、二段手摺・多機能トイレ整備等				対象	JR西日本		
					手段	エレベーター等バリアフリー施設の整備に対する補助金の支出		
					意図	交通移動の円滑化		

事業期間	R2 年度	~	R9以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
			交通施設バリアフリー化		交通施設バリアフリー化		清掃委託料	1,426千円
			整備事業補助金		整備事業補助金		光熱水費	552千円
			(新幹線①)	20,969千円	(在来線①)	28,698千円	下水道使用料	96千円
			交通施設バリアフリー化				交通施設バリアフリー化	
			整備事業補助金				整備事業補助金	57,431千円
			(新幹線②)	18,623千円			交通施設バリアフリー化	
合計			39,592千円		28,698千円	整備事業補助金(繰越)	73,108千円	
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金			点状ブロック等事業費の1/6	9,142千円			
	地方債							
	その他			新幹線厚狭駅整備基金	30,450千円			
	一般財源					28,698千円		132,613千円
合計			39,592千円		28,698千円		132,613千円	
人工数	人件費	0.06人	348千円	0.06人	347千円	0.05人	287千円	
総経費		348千円		39,939千円		28,985千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	エレベーター設置等(新幹線厚狭駅)	活動	実施設計	工事		
			事業着手	工事		
			-	100.00%		
2	エレベーター設置等(在来線厚狭駅)	活動	実施設計、工事	実施設計、工事	工事	工事
			実施設計、工事	実施設計、工事	工事	工事
			100.00%	100.00%		
3						

成果	厚狭駅在来線において、EVの設置を推進するとともに、内方線付き点状ブロックや二段手摺、多機能トイレ等を整備するなど、市民の公共交通利便性の向上へ大きく貢献した。				
R6年度に向けた課題及び改善策	今後、EV設置(全4基)を中心として関連工事が順調に進むよう、所要の経費について助成を行うとともに、多機能トイレの維持管理を行う。				
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					



R4年度 事務事業評価シート

156 課・局・室・所(係) 商工労働課 公共交通対策室 事務事業番号 219020109

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	地域交通推進事業	9	交通マップ作成事業				政策的	
事業概要	市全体の公共交通を明示した地図が存在しないため、本市の公共交通体系が分かりにくい状況にある。公共交通(バス停、駅)の運行経路マップを作成し、周知に努めることにより利用促進を図る。				対象	市民		
					手段	公共交通マップの作成		
					意図	地域公共交通の利用促進		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)				
支出内訳										
	合計									
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源									
合計										
人工数	人件費	0.02人	116千円	0.01人	58千円	0.01人	57千円			
総経費			116千円		58千円		57千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	公共交通マップ作成	活動	更新	更新	更新	更新
			更新	更新	更新	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	都市計画課と連携し、山陽小野田市WEBマップにより本市公共交通に係る情報を掲示した。				
R6年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	ゼロ予算事業				

R4年度 事務事業評価シート

157

課・局・室・所(係)

商工労働課

公共交通対策室

事務事業番号

219020114

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	地域交通推進事業	14	JR小野田線活性化事業				政策的
	JR小野田線の活性化を図ることを目的とし、本市及び県、宇部市、西日本旅客鉄道株式会社、山口大学で「JR小野田線活性化委員会」を立ち上げ、行政及び事業者の観点で継続的なJR小野田線の活用に努める。既存のJR小野田線利用促進協議会における、利用者目線での小野田線の活用に加え、小野田線をより利用し易くする仕組みづくりや、小野田線の運行区間である宇部市との連携事業の実施などを通じた利用促進を図る。				対象	JR小野田線活性化委員会		
					手段	JR小野田線活性化委員会への負担金支出		
					意図	JR小野田線の利用促進		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)			
	JR小野田線	295千円	JR小野田線	195千円	JR小野田線	895千円	JR小野田線	900千円		
	活性化事業負担金		活性化事業負担金		活性化事業負担金		活性化事業負担金			
	合計	295千円		195千円		895千円		900千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他								まちづくり魅力基金	900千円
	一般財源	295千円		195千円		895千円				
合計	295千円		195千円		895千円				900千円	
人工数	0.10人	580千円	0.10人	578千円	0.10人	573千円				
総経費		875千円		773千円		1,468千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	JR小野田線の一日常たりの乗者人数	成果	できるだけ多く	できるだけ多く	できるだけ多く	できるだけ多く
			405人	402人	414人	
			-	-	-	
2	JR小野田線活性化委員会事業への参加者数	成果	100人	100人	1000人	1000人
			117人	210人	2828人	
			117.00%	210.00%	282.80%	
3						

成果	沿線の山陽小野田市、宇部市にとって必要不可欠な交通インフラとして、両市民が小野田線の重要性を改めて認識し、確実かつ持続的な利用につながるよう、特別列車「JR小野田線どさげん号」の運行や、美祢線・宇部線と連携した広域的なスタンプラリー、JR小野田線「車窓」フォトコレクションの開催など、話題化と実効性を追求した利用促進施策を展開した。					
R6年度に向けた課題及び改善策	令和5年4月に地域交通法が改正され、全国的にJRローカル線の再構築を図ることが急務となっている。そこで、沿線住民の生活利用が促進されるよう、マイレール意識の着実な醸成を図るとともに、沿線市や県、JR西日本、学識経験者とともに、小野田線の利用低迷に係る原因分析と一層の利用促進に資する対策の協議を行う。					
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性				
	成果	拡充	コスト	拡大		
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

158 課・局・室・所(係) 商工労働課 公共交通対策室 事務事業番号 219020116

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	地域交通推進事業	16	地域公共交通計画策定事業				政策的
	令和2年の地域公共交通活性化再生法の改正により、従来の「地域公共交通網形成計画」に代わる、新たな公共交通のマスタープランとして「地域公共交通計画」の策定が努力義務化された。 これを踏まえ、まちづくりに寄与する持続可能な地域公共交通を形成するため、地域公共交通の今後のあり方を明らかにし、その実現に向けた方策を示した「山陽小野田市地域公共交通計画」を策定するもの。 計画策定の主体は、市地域公共交通会議(法定協議会)となるため、同会議に負担金を支出する。				対象	山陽小野田市地域公共交通会議		
					手段	負担金の交付(地域公共交通計画の策定)		
					意図	持続可能な旅客運送サービスの提供の確保(輸送資源の総動員による移動手段の確保、既存の公共交通サービスの改善の徹底)		

事業期間	R4 年度	～	R9以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					地域公共交通			
					会議負担金	9,153千円		
					報償金	18千円		
合計						9,171千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				商工費雑入	1,250千円		
	一般財源					7,921千円		
合計						9,171千円		
人工数	人件費				0.20人	1,147千円		
総経費		千円		千円		10,318千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R2	R3	R4	R5
1	計画の策定	活動		策定 策定 100.00%	
2					
3					

成果	交通コンサルに委託して市民アンケートや市内バス路線OD調査、交通事業者へのヒアリング等を行うとともに、地域公共交通会議を計5回開催し、対応方針及び具体的な対応策について審議を行った。パブリックコメントの実施を経て、令和5年3月に、本市公共交通の新たなマスタープランである「山陽小野田市地域公共交通計画」を策定した。					
R6年度に向けた課題及び改善策	令和4年度事業完了					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
	成果	完了	完了年度	R4		
特記事項	商工費雑入1,250千円は、地域公共交通計画策定に係る国庫補助金相当分(国から地域公共交通会議に交付されたため、同額を地域公共交通会議から市へ納付(雑入として受け入れ))					

R4年度 事務事業評価シート

159 課・局・室・所(係) 商工労働課 公共交通対策室 事務事業番号 219020119

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	地域交通推進事業	19	高泊地区デマンド型交通運営事業				政策的	
事業概要	令和4年10月に、コミュニティバス路線「高畑・高泊循環線」のうち「高泊循環線」が廃止されることから、その代替措置として、高泊地区にデマンド型交通を導入する。 ※令和4年10月から令和5年9月まで実証運行を実施。令和5年10月以降本格運行へ以降予定。				対象	交通不便者		
					手段	高泊地区内に設定した停留所から、目的地をつなぐ運送サービスを実施。		
					意図	生活交通の維持、地域公共交通の利用促進		

事業期間	R4 年度	～	R5 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳					デマンド型交通	2,885千円	デマンド型交通	6,000千円
					運行業務委託料		運行業務委託料	
					停留所看板	234千円	印刷製本費	100千円
					作成委託料			
					印刷製本費	135千円		
					消耗品費	6千円		
	合計						3,260千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他						デマンド交通運行維持費補助金	500千円
	一般財源					3,260千円		5,600千円
	合計						3,260千円	
人工数 人件費					0.16人	917千円		
総経費		千円		千円		4,177千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	デマンド型交通運行日数	活動			73日	142日
					70日	
					95.89%	
2	一日当たり乗車人数	成果			16人	16人
					4.8人	
					30.00%	
3	一日当たり稼働率	成果			60%	60%
					23%	
					38.33%	

成果	令和4年10月から、高泊地区においてデマンド型交通の実証運行を開始し、マイカーを自由に利用できない方の交通利便性を確保した。地元での認知向上に伴い、徐々に利用者が増加しつつある。					
R6年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	B	R6年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持		
特記事項						

R4年度 事務事業評価シート

160 課・局・室・所(係) 都市計画課 計画係 事務事業番号 220010403

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	20	適正な土地利用の推進	1	適正な土地利用の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	4	都市計画図管理事業	3	ドローン活用事業				政策的
事業概要	ドローンを使用し、都市公園、文化財などの観光素材や祭りなどのイベント状況、公共施設(庁舎、学校、文化会館、オートレース場等)などを撮影し、ホームページや観光パンフレット等に掲載して市をPRする。操作者の講習は、平成31年度の後には3年に1度とする。毎年の保険と保守を必要とする。				対象	市の情報		
					手段	ドローンによる撮影		
					意図	市の魅力ある情報を発信する。		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)			
					修繕料	千円	修繕料	50千円		
	保険料	48千円	保険料	66千円	保険料	66千円	保険料	110千円		
					手数料	1千円	機械器具費	100千円		
	合計	48千円		66千円		67千円		260千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	48千円		66千円		67千円		260千円		
合計	48千円		66千円		67千円		260千円			
人工数	人件費	0.10人	580千円	0.10人	578千円	0.05人	287千円			
総経費		628千円		644千円		354千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R2	R3	R4	R5
1	撮影回数	活動	—	—	—	—
			10	20	16	
2						
3						

成果	文化財や記念イベントなどの市の魅力発信に寄与する撮影をはじめ、災害箇所撮影やインフラの点検等にも利用した。空撮による分かりやすさや伝わる情報量の多さなど、優位性のある場面において幅広く利用することができ、意図にある魅力発信に留まることのない有効利用をすることができている。					
R6年度に向けた課題及び改善策	引き続き、全庁的に広く多様な用途の撮影に利用していく。					
目標達成度	A	R6年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	令和5年度に新機体購入予定である。					

R4年度 事務事業評価シート

161

課・局・室・所(係)

都市計画課

計画係

事務事業番号

220020201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)				
	3	都市基盤	20	適正な土地利用の推進	2	市街地の整備			
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
2	コンパクトなまちづくりモデル事業	1	山陽小野田市厚狭駅南部地区定住奨励金事業					政策的	
事業概要	「厚狭駅南部地区まちづくり基本計画」に基づき、厚狭駅南部地区のモデル地区において定住を促進し地域の活性化を推進するため、モデル地区内に定住する意思をもって住宅を取得し居住した者に対し奨励金を交付する。交付期間は令和7年度末までの5年間としている。					対象	モデル地区内に定住する意思をもって住宅を取得し居住した者		
						手段	奨励金の交付		
						意図	モデル地区における定住促進と地域の活性化を図る		

事業期間	R3 年度	～	R7 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(予算額)	
支出内訳			厚狭駅南部地区定住奨励金	400千円	厚狭駅南部地区定住奨励金	600千円	厚狭駅南部地区定住奨励金	1,000千円
	合計			400千円		600千円		1,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			400千円		600千円		1,000千円
合計			400千円		600千円		1,000千円	
人工数 人件費			0.10人	578千円	0.01人	57千円		
総経費		千円		978千円		657千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R2	R3	R4	R5
1	定住奨励金の交付数	活動		5	5
				2	3
				40.00%	60.00%
2					
3					

成果	3件の申請に対して交付決定を行った。定住促進と地域の活性化に寄与した。				
R6年度に向けた課題及び改善策	制度開始以降、目標としている5件に達していない状況が続いている。定住促進のためのPR方法について検討を進める。				
目標達成度	C	R6年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	浸水被害への対応についての検討が必要である。				